

長期ビジョン実現に向けた変革の実践

長期ビジョン「TOKYOink Vision 2030」の目標達成に向けて

中期経営計画「TOKYOink 2027」は、2030年に目指す姿である長期ビジョン「TOKYOink Vision 2030」の実現に向けた具体的施策を着実に推進するための重要な実行フェーズです。

2年目にあたる2026年度は、初年度に着手した各種施策を深化・加速させ、成果につなげる期間と位置付けています。

当社グループを取り巻く事業環境は、原材料価格の変動や地政学リスク、環境規制の強化等、引き続き不確実性の高い状況が続いています。このような環境下においても、「伝える」「彩る」「守る」製品の提供を通じた社会課題の解決という当社グループの存在意義を改めて認識し、事業の強靱化と持続的成長に向けた取り組みを推進しています。

TOKYOink 2024
～飛躍への準備～

TOKYOink 2027
～変革の実践～

TOKYOink
Vision 2030
～新たな価値の創出～

2026年度は、収益力の向上と資本効率の改善を両立させるべく、収益計画と資本政策・財務戦略の連動を一層強化するとともに、事業ポートフォリオの最適化や成長領域への投資を加速させていきます。また、成長・戦略投資を通じた競争力強化にも引き続き取り組み、変革を推進してまいります。

中期経営計画に関する資料



https://www.tokyoink.co.jp/pdf/mid-termplan_TOKYOink_2027.pdf

▶ 経営目標

	2025年度実績	2027年度目標	2030年度目標
売上高(百万円)	49,926	48,000	50,000
営業利益(百万円)	2,217	2,000	2,800
当期純利益(百万円)	1,867	1,500	2,000
ROE(%)	6.1	5.5	8.0
総資産(百万円)	53,673	50,000	50,000
自己資本(百万円)	31,892	27,000	25,000
自己資本比率(%)	59.4	54.0	50.0

▶ 基本戦略



収益計画（成長戦略）

- 製品絞り込み（収益の見込めない製品の見直し）
各事業内製品の収益性を見極めながら整理を実施
- 高付加価値製品の開発強化
市場ニーズに合わせた付加価値の高い製品開発（サステナブル対応製品等）
- 既存事業内の成長分野への投資拡大
成長の見込める加工品事業への積極投資の実施
- 価格政策の推進
原材料、エネルギー等のコスト上昇分の価格転嫁の推進
- 生産性向上の推進
省力化、自動化による業務効率化促進



資本政策・財務戦略

- 株主資本の活用を最大化
 - ・資産効率を重視したキャッシュの創出
 - ・政策保有株式の縮減
 - ・債権流動化、キャッシュ・コンバージョン・サイクル（CCC）の改善
- 強固な財政基盤の確保
 - ・成長戦略に基づく投資資金計画立案（創出したキャッシュおよび有利子負債の活用）
→R&D・M&A等の大型投資に対する機動的な資金調達
- 株主還元の実施
 - ・配当性向40%以上またはDOE1.0%以上
 - ・自己株式の活用方法の検討